

森林の生き物を調べるための考え方

指導用資料のチャートを使って、森にいる生き物のことを知り、その数や変化をとらえるために必要な考え方を理解します。

○実施例

実施時期：春 時間：25分 実施場所：室内・森林 指導者：1名 児童：30名

ねらい：森林調査の基本的な考え方を理解する。

プログラムの展開

時間	活動	備考
導入(10分)	あいさつ	話への興味を喚起
移動(5分)	森を知る・お話編 (◇お話例)	
活動 (60分)	①森にいる生き物 ◇森には様々な生き物がいます	指導用資料 (1)
	②森の生き物を知る ◇森の生き物を知ることは難しい ◇図鑑で全部わかるわけではない	指導用資料 (2)
	③どのくらいいるか？ ◇数えても多い少ないは分からない	指導用資料 (3)
	④多い少ない？ ◇別の場所と比べると分かります	指導用資料 (4)
	⑤どちらが多い？(I) ◇でも全部が見えていますか？	指導用資料 (5)
	⑥どちらが多い？(II) ◇全部が見えないと分かりません	指導用資料 (6)
	⑦どちらが多い？(III) ◇ちらばり具合に注目してみよう	指導用資料 (7)
	⑧どちらが多い？(IV) ◇同じ広さの中でみてる	指導用資料 (8)
	⑨校庭の夏と冬 ◇夏と冬では人の集まる場所が違う	指導用資料 (9)
	⑩ふえてる？へってる？(I) ◇市内の小学生の数を考えてみよう	指導用資料 (10)
	⑪ふえてる？へってる？(II) ◇学校が開校した年はこうでした ◇小学生はふえてる？へってる？	指導用資料 (11)
	⑫ふえてる？へってる？(III) ◇続けて調べることが大切です	指導用資料 (12)
	⑬どうやって生きている？ ◇他にも知りたいことがありそう	指導用資料 (13)

道具：指導用資料

持ち物：無し

準備：実施場所の安全確認